



2023年5月15日

各位

会社名 東京ボード工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 井上 弘之
(コード: 7815 スタANDARD)
問合せ先 取締役経営管理部長 尾股 拓彦
(TEL: 03 - 3522 - 4138)

通期連結業績及び個別業績の前年実績との差異に関するお知らせ

当社は、2023年3月期通期連結業績及び個別業績につきまして前年実績との差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2023年3月期通期連結業績と前期業績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前年実績(A) 2022年3月期	百万円 7,565	百万円 938	百万円 914	百万円 1,223	円 銭 472.20
今回発表業績(B) 2023年3月期	8,466	242	223	507	195.92
増減額(B - A)	900	695	690	716	
増減率(%)	11.9	-	-	-	

2. 2023年3月期通期個別業績と前期業績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前年実績(A) 2022年3月期	百万円 6,157	百万円 1,281	百万円 1,197	百万円 1,348	円 銭 520.13
今回発表業績(B) 2023年3月期	7,031	561	488	620	239.46
増減額(B - A)	874	719	708	727	
増減率(%)	14.2	-	-	-	

3.差異が生じた理由

2022年12月に佐倉工場のチップ乾燥設備焼損による生産休止となりました。チップ乾燥設備の復旧には部品の調達等に期間を要することが判明したため、生産工程、生産方法の見直しを行い2023年2月より一部生産を再開いたしました。生産休止になったことに伴い製品の在庫が逼迫し、年度末にかけて販売数量が大きく減少しました。しかしながら、年間を通し、当社グループの強みでもある木質廃棄物の回収から製品の製造・販売の木材のマテリアルリサイクルを活かすべく、部署間・グループ間の連携の強化、製造工程管理の見直し、人材育成等に注力し、売上の増加及び経費の削減に努めた結果、売上高の増加、営業損失、経常損失、当期純損失の減少となりました。

以 上